



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 康至
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	81,643	7.6	959	18.3	1,143	21.8	777	26.4
2023年3月期第1四半期	75,891	12.1	811	130.8	939	105.8	615	120.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,136百万円 (96.1%) 2023年3月期第1四半期 579百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	144.51	—
2023年3月期第1四半期	111.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	91,858	26,687	29.1	4,957.61
2023年3月期	81,988	25,927	31.6	4,816.39

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 26,687百万円 2023年3月期 25,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年3月期	—				
2024年3月期（予想）		0.00	—	60.00	60.00

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 10円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	1.5	3,000	△24.8	3,200	△25.2	2,200	△28.5	408.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	5,562,292株	2023年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	179,053株	2023年3月期	179,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,383,247株	2023年3月期1Q	5,545,154株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法の「5類」に移行し、経済活動の回復は加速しており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には持ち直しの動きがみられます。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の上昇等により厳しい状況にあります。また、消費者購買行動は、厳しい消費者心理を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の正常化が進み、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しつつあるものの、内食関連需要は品種別にまだら模様がみられます。

また、価格動向については、円安やコスト上昇などを反映して、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は全般的に上昇し、これに呼応して販売価格も上昇しています。

業界環境としては、価格上昇により需要が全般的に伸び悩む中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にあります。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』（2021年度～2023年度）の最終年度に当たり、当社グループは、引き続きグループ横断的な4つの重点テーマである「鮮魚事業（取引）の拡大」、「加工事業（取引）の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」について、バリューチェーンの最適化を意識したグループ従業員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は81,643百万円（前年同四半期比107.6%）となりました。損益面では、売上総利益は7,020百万円（前年同四半期比103.1%）となり、営業利益959百万円（前年同四半期比118.3%）、経常利益1,143百万円（前年同四半期比121.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益777百万円（前年同四半期比126.4%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売に回復傾向が見られる中、内食関連の販売も堅調に推移しており、入荷量の減少を受け販売数量は減少しましたが、販売価格の上昇や販管費の節減により、売上高50,985百万円（前年同四半期比106.8%）、セグメント利益683百万円（前年同四半期比105.2%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、内食関連の販売が堅調に推移し、外食・宿泊関連の販売に加え、インバウンド需要も回復が徐々に進み、販売価格の上昇もあって売上高は伸長し、調達コストの上昇がありましたが、売上高30,775百万円（前年同四半期比106.9%）、セグメント利益46百万円（前年同四半期はセグメント損失86百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売価格は堅調に推移しましたが、販売数量が減少したことに加え、餌料、資材、燃料費等の値上げによる生産コストの上昇により、売上高1,798百万円（前年同四半期比86.9%）、セグメント利益199百万円（前年同四半期比66.2%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、輸入原料の調達コストが高止まりしていることに加え、米価が上昇したこと等により、売上高986百万円（前年同四半期比95.8%）、セグメント損失25百万円（前年同四半期はセグメント損失20百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、センターフィーが増加したことにより、売上高411百万円（前年同四半期比104.3%）、セグメント利益0百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高1,195百万円（前年同四半期比135.9%）、セグメント利益10百万円（前年同四半期はセグメント損失36百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて9,870百万円増加し、91,858百万円となりました。増加の主な要因は、棚卸資産の増加8,452百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて9,110百万円増加し、65,170百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3,231百万円、借入金の増加5,940百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて760百万円増加し、26,687百万円(自己資本比率29.1%)となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加401百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741	2,019
受取手形及び売掛金	30,549	31,554
商品及び製品	29,145	37,532
原材料及び貯蔵品	275	340
その他	861	1,436
貸倒引当金	△82	△86
流動資産合計	63,490	72,796
固定資産		
有形固定資産	10,663	10,567
無形固定資産	906	958
投資その他の資産		
投資有価証券	5,008	5,443
その他	2,249	2,422
貸倒引当金	△331	△330
投資その他の資産合計	6,927	7,534
固定資産合計	18,497	19,061
資産合計	81,988	91,858
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,778	24,009
短期借入金	17,753	23,963
1年内返済予定の長期借入金	2,535	2,404
未払法人税等	822	470
賞与引当金	760	491
その他	3,866	4,415
流動負債合計	46,516	55,755
固定負債		
長期借入金	6,500	6,361
退職給付に係る負債	2,335	2,327
役員退職慰労引当金	112	104
その他	594	621
固定負債合計	9,543	9,415
負債合計	56,060	65,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	13,002	13,403
自己株式	△442	△442
株主資本合計	25,145	25,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,217	1,523
繰延ヘッジ損益	△31	24
土地再評価差額金	△450	△450
退職給付に係る調整累計額	47	44
その他の包括利益累計額合計	782	1,141
純資産合計	25,927	26,687
負債純資産合計	81,988	91,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	75,891	81,643
売上原価	69,084	74,622
売上総利益	6,807	7,020
販売費及び一般管理費	5,996	6,061
営業利益	811	959
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	97	102
受取賃貸料	43	46
補助金収入	7	60
その他	76	40
営業外収益合計	225	250
営業外費用		
支払利息	43	44
賃貸費用	22	21
貸倒引当金繰入額	30	—
その他	0	0
営業外費用合計	97	66
経常利益	939	1,143
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	—	5
税金等調整前四半期純利益	939	1,148
法人税、住民税及び事業税	365	438
法人税等調整額	△42	△67
法人税等合計	323	370
四半期純利益	615	777
親会社株主に帰属する四半期純利益	615	777

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	615	777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	305
繰延ヘッジ損益	△11	56
退職給付に係る調整額	△12	△2
その他の包括利益合計	△35	359
四半期包括利益	579	1,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	579	1,136
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,467	27,763	1,337	587	130	75,286	605	75,891	—	75,891
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,269	1,024	731	442	264	4,732	274	5,006	△5,006	—
計	47,737	28,788	2,068	1,029	394	80,019	879	80,898	△5,006	75,891
セグメント利益 又は損失(△)	649	△86	301	△20	△7	836	△36	800	10	811

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額10百万円には、セグメント間取引消去200百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△190百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	48,357	30,286	1,368	607	128	80,749	893	81,643	—	81,643
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,627	488	429	379	282	4,207	302	4,509	△4,509	—
計	50,985	30,775	1,798	986	411	84,957	1,195	86,152	△4,509	81,643
セグメント利益 又は損失(△)	683	46	199	△25	0	904	10	914	44	959

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額44百万円には、セグメント間取引消去244百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△199百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。